

日本リハ医学会近畿地方会Newsletter

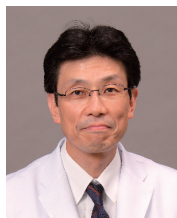


平成27年度 第2号
2016年1月15日発行

近畿地方会ホームページ
www.kinkireh.com

日本リハビリテーション医学会 近畿地方会事務局
大阪医科大学 総合医学講座 リハビリテーション医学教室 佐浦 隆一

お問合せ先
〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地 KRP6号館 3F
有限会社 セクレタリアット内 近畿地方会事務局
TEL: 075-315-8472 FAX: 075-315-8472 E-mail: office@kinkireh.com



代表幹事の挨拶

大阪医科大学 総合医学講座
リハビリテーション医学教室
佐浦 隆一

日本リハビリテーション医学会近畿地方会(以下、近畿地方会)会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。また、近畿地方会の運営へのご協力に対しまして、近畿地方会幹事会を代表し心よりお礼申し上げます。

さて、近畿地方会にとって、今年はBig yearでもあります。近畿では13年ぶりとなる学術集会を久保俊一先生(京都府立医科大学)が会長として開催されます。これまでにない規模での開催となりますので、近畿地方会としても一丸となり、協力していく所存です。近畿地方会会員の皆様の全員参加を強くお願い申し上げます。

また、来年2017年10月28～29日には公益社団法人日本リハビリテーション医学会(以下、日本リハ医学会)専門医会学術集会が発展した第1回日本リハ医学会(秋季)学術集会(会長 菅本一臣先生(大阪大学))が大阪国際会議場で開催されます。同時に新専門医制度下での専門医研修プログラムも始まります。そして、2025年を目途とされる地域包括ケアシステムの構築においてもリハビリテーションは非常に重要な役割を担っています。

大きなニュースはまだ続きます。昨年6月にベルリンで開催された第9回The International Society of Physical and Rehabilitation Medicine(国際リハビリテーション医学会、ISPRM)にて、2019年のISPRM日本開催(2019年6月9-13日・神戸)が決定しました。ISPRMの招致にはISPRM招致委員会(委員長・才藤栄一先生)が中心となり、なかでも道免和久先生(兵庫医科大学)は文字通り



CONTENTS

- ◆代表幹事の挨拶 1頁
- ◆第53回日本リハビリテーション医学会学術集会
準備状況について..... 1-2頁
- ◆ISPRM招致・神戸開催について 2-3頁
- ◆第3回近畿地区新専門医交流会の開催報告 3頁
- ◆第40回日本リハビリテーション医学会
近畿地方会学術集会 会長挨拶 4頁
- ◆第40回近畿地方会学術集会開催概要 4頁
- ◆2016年度近畿地方会研修会カレンダー 5頁
- ◆編集後記 5頁



不眠不休の努力(実際、プレゼンテーション直前は連日徹夜で作業)で招致のためのプレゼンテーション資料・DVDを作成され、ベルリンでの決定を勝ち取りました。同年の日本リハ医学会学術集会(第56回)も神戸で開催される予定です。また、同じく2019年にはInternational Society for Prosthetics and Orthotics(国際義肢装具協会、ISPO)の神戸開催(2019年10月7-10日)も決定しています。さらにその翌年には、第32回オリンピック競技大会(2020/東京)にあわせて東京2020パラリンピック競技大会も開催され、日本リハ医学会の国際化がこれから一気に進展、開花致します。

このように今から、日本のそして近畿地方のリハビリテーション医学・医療に追い風が吹いてきます。近畿地方会ではこれらの事業や課題に乗り遅れることなく、また、風に煽られて転倒することなく(笑)、足腰を鍛えてチームとして対応して参りたいと思います。

これまで以上の近畿地方会会員の皆様のパワーやアイデアと地方会への参加が必要ですので、暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

第53回日本リハビリテーション医学会学術集会のご案内

第53回日本リハビリテーション医学会学術集会幹事
京都府立医科大学リハビリテーション医学 准教授 池田 巧

第53回日本リハビリテーション医学会学術集会を2016年6月9日(木)～11日(土)の3日間、国立京都国際会館と隣接するグランドプリンスホテル京都で、京都府立医科大学の久保俊一副学長を会長として開催いたします。京都での開催は、国際リハビリテーション医学会第8回世界大会(IRMA VIII)に合わせて開催された1997年の第34回学術集会以来の19年ぶりで、京都の教育機関が担当するのは今回が初めてです。学術集会のメインテーマは「軌轍(Kitetsu)

と融和(Yuwa)」としております。多くの先人が積み重ねてきた知恵、すなわち軌轍を正視し、分野を超えた融和を通してリハビリテーション医学が飛躍できるようにとの思いを込めています。

現在プログラム案の骨子が確定し、鋭意準備を加速させております。多くの関連学会・協会との合同企画として、日本整形外科学会、日本運動器科学会、日本臨床整形外科学会、回復期リハビリテーション病棟協会、日本心臓リハビリテーション学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本義肢装具学会、日本神経学会、日本脳神経外科学会、日本関節リウマチのリハビリテーション研究会、PT、OT、ST、PO協会など、リハビリテーションに携わるすべての職種が満足いただける企画が満載です。2019年6月に神戸で国際リハビリテーション医学会